



子育て支援を 巡る動き NOW

医療機関併設の病児・病後児保育室

小平市を例にとると、この春、花小金井に3つの保育園、鈴木町に1つ、7月には天神町に1つ、計5つもの私立保育園が開園する。同市東部のこれらの地域には待機児童数が多いことから、保育園の増設が要望されていたとのこと。待機児童の解消は国の施策で、平成29年度末には待機ゼロを目指している。

このように夫婦共働きの家庭が増えていく今の社会で、過去のアンケートによると、「子どもの預かりで市町村におこなってほしい内容」について、最も多かった回答は「病児・病後児保育」で、43%を占めたという（H23 病児保育をつくる会調査）。病児・病後児保育事業とは、子どもが病中又は病気の回復期にあって集

団保育が困難な時、保育所・医療機関等に付設された場所で、一時的に保育及び看護ケアを行うという保育サービスのこと。

この冬のインフルエンザ大流行で、困り果てた家庭も多かったことだろう。親が無理なく仕事を休め、子どもを看ることが一番いいことだが、現実には未だ厳しい。国の少子化対策事業の一つとして、人口10万人に対して、1カ所の病児・病後児保育室の設置



病児保育の先駆者
斎藤喜親院長

「えくぼ」内の静かな部屋の中で、
保育される子どもたち



が義務づけられているところ、ここ1、2年の間に、急性期の病児も預かってくれる医院併設の保育室が本誌エリア各市に開設された。何かの時はすぐに看てもらえる小児科医がいる保育室は、親のニーズに応えた、安心して預けられる場だ。

充実の病児保育室「えくぼ」

西東京市保谷駅近くにある、さい

医療機関併設型の 病児・病後児保育室

西東京市

■病児保育室「えくぼ」（さいとう小児科内科クリニック2階）

〈対象年齢〉 生後6か月～小学4年
〈保育時間〉 月～金／8時30分～18時 土／8時30分～12時30分（いずれも状況により延長可）
〈定員〉 12名

・登録制、利用は前日までに予約（8時30分～18時 空きがあれば当日でも可）

・急性期、回復期、ほとんどの病児に対応可能（隔離室完備）

☎042（438）7001えくぼ直通 ☎042（421）7201

さいとう小児科内科クリニック
西東京市下保谷4-2-21

■病後児保育室「ばんだ」（佐々総合病院）

〈対象年齢〉 生後6か月～小学4年
〈保育時間〉 月～金／8時30分～18時 土／8時30分～12時30分
〈定員〉 4名

・登録制、利用は前日までに予約（8時30分～17時）

・隔離が必要な病児は受入れ不可
☎042（465）0988

西東京市田無町4-27-3

とう小児科内科クリニック内の病児保育室「えくぼ」は、この地域に先駆けて、西東京市からの委託を受け平成13年から開設。年間利用者数は約2500人上り、東京都でもトップクラス。そのうち西東京市の利用者は約1900人で他は、隣接する東久留米市や練馬区からの利用者も多い、と斉藤院長。保育定員12名で専任スタッフ7名、看護師1名が常駐している。

2階にある「えくぼ」には病児室のほかに、感染症のための隔離室が4室完備。空調、空気清浄機は無菌室で使用する特別なものを使用。壁は天然素材、床は竹を使用した床暖房と、安全、安心の環境で、ケアも万全。とくれば、預ける側の精神的安堵感はいかばかりだろう。インフルエンザで5日間通い、「帰りたくない」という子どもがいるとか。

「子どもは急に病気になるものから、当日でも受入れますし、基本的にどんな病気にも対応しています。ただ、1年に10日位希望者が殺到して、どうしても断らざるを得ないこともありますが」と斉藤院長。親と子ども（患者）の立場に立った姿勢が、子育て支援を心の通ったものになっている。

「父子手帳」をつくりたい

「西東京市。パ。パ。クラブ」で。パパ同士がつながる

西東京市主催の「イクメン講座」に参加したパパたちで、田崎吉則さん（45歳）が中心になって平成23年に立ち上げた「西東京市パ。パ。クラブ」。「地元で笑っているパパになろう」をモットーに30代から50代のパパたち、13名が楽しく、ためになる子育て企画を実施している。

「自分の子育てに不安を持つパパがいても話す場がない。どうやって育児にかかわっていくか、肩肘はらずに、会社と家庭以外の第3の居場所を作りたい」と田崎さん。市の助成を受け「パパスクール」5回講座を実施。パパの産後ケア、料理、マネー講座など。中でも夏休みに行くパパの絵本ライブでは、役に立たないけれど、面白い本を意図的に選んで、子どもたちを格拉グラ笑わせる。「照れずにやれるまでが大変」という田崎さん



カラフルなバルーンの帽子で、田崎さん



子どもも大人も楽しんだバルーンアート講座

だが、目は笑っている。

住吉公民館で催す「パリテまつり」ではパ。パ。クラブがバルーンアート講座を担当して大人気。パパと子ども20組で、スカイツリーやサーベル、犬などを作って盛り上がった。

今年の目標は「父子手帳」をつくること。各々の時間のやりくりが苦労だが、「子どもと接する時期を逃さず、楽しみたい」。「地元で飲もう」と、終了後は自分たちの住む町を順次飲み歩き。「小さい町内単位でパ。パ。クラブができるといい」パパたちの育児参加の輪が広がろう。

小平市

■たんぼぼ病児保育室（ちあきこどもクリニック）

〈対象年齢〉生後6か月～未就学児
〈保育時間〉月～土（木休み）8時30分～18時30分
〈定員〉6名

・登録制、利用は前日予約（10時～18時 18時～22時はM田連絡）
・麻疹（はしか）以外の病気やケガに対応（隔離室完備）

☎042（312）3326
小平市栄町2-10-6

■病後児保育室あいびー（公立昭和田病院内保育園内）

〈対象年齢〉生後6か月～未就学児
〈保育時間〉月～金／8時～18時
〈定員〉4名

・登録制、利用は前日予約（8時～18時電話のみ）

・病気回復期を受入れ
☎042（463）5303
小平市花小金井5-1-4

東村山市

■森の病児保育室「たまほく」（多摩北部医療センター敷地内）

〈対象年齢〉生後6か月～小学3年
〈保育時間〉月～金／8時～18時
〈定員〉4名

・登録制、利用予約は前日の18時まで（空きがあれば当日でも可）
・病気やケガの回復期対応。麻疹（はしか）、流行性角結膜炎等は受

公立昭和病院のセミナーで 小学5・6年生が外科医体験

公立昭和病院で3月9日に「ブラック・ジャックセミナー」が開催された。今年で3回目、今回は小平市、東村山市、東大和市、武蔵村山市の新5・6年生32名が参加。これは同病院の社会貢献活動の一環として「将来の医師を育てる」ことを目標に毎年開かれている企画。各市の公立小学校を通して募集し、研修用の最新医療機器を使った外科処置体験をする。1回目は参加者24名だったものの、口コミで増え、今年は48名の応募があり抽選となるほど、この地域で唯一のセミナーだ。

山口浩和外科担当部長は「中学、高校になると職業を意識していきま



上)内視鏡トレーニングでピーズを使って。
下)先生が教えてくれて、上手に縫合できたよ。



上・終了後、英文の認定証が一人一人に授与された。
左・笑顔絶やさず子どもたちを見守る山口先生

すが、その前に、こういう体験をすると、考える幅が広がると思います。医療をもっと身近なものとして捉え、将来医療関係の仕事に進んでくれたらいいですね。医師自身も子どもと接するのが楽しいし、何より研修医にとっては貴重な体験になりますから。毎回山口先生はアメリカで買った、ミッキーマウスの勝負ネクタイ(??)を締め、セミナーに臨んでいる。皮膚の模型を縫う縫合体験、モニターを見ながら胆のうを摘出するシミュレータ体験、内視鏡手術体験、超音波メスを使って、鶏肉を10グラ

ムになるよう切除する最新医療機器体験の4種類を4班に分かれ、順番にすべてを体験した。

「予想以上の体験でおもしろかった」「最初は緊張したけど、やっているうちにだんだん楽しくなった」と子どもたちの感想。母親が看護師という生徒も数人いて、「お母さんのあとを継ぎたい」という女子。あるいは「おねえちゃんが病気だから、絶対医者になりたい」という6年女子も。会場には先生方の拍手や応援の声が飛び交い、終始なごやかな雰囲気。「子どもたちの集中力には感心する。大人にはできないと思います」と付き添いの保護者も興味深げに覗いていた。子どもたちにとって、この日の非

日常体験は、後々どのような形で残っていくだろうか?大いに期待したい。

入不可

☎042(306)3163

東村山市青葉町1-7-1

東久留米市

■こども静養室めぐのへや(さいわい町診療所併設)

〈対象年齢〉1歳〜小学低学年

〈保育時間〉月〜金/9時〜17時

〈定員〉4名

・登録制(年間2千円)、麻疹(はしか)以外の病気に対応

☎042(470)7676

東久留米市幸町5-7-1

清瀬市

■病児保育室「チルチルミチル」(武蔵野総合クリニック2階)

〈対象年齢〉生後2か月〜小学4年

〈保育時間〉月〜金/8時30分〜17時

〈定員〉6名

・登録制、前日予約(空きがあれば当日でも可)

・麻疹(はしか)、流行性角結膜炎等は受入れ不可

☎090(9809)4150

清瀬市元町1-8-30

*どの保育室も事前登録が必要。利用料金は保育室によって異なり、市内と市外利用可の場合でも異なる。